



BLUE SKY

～自ら学び 心豊かな子どもに～

第6号

令和8年9月14日(月)
コタキナバル日本人会附属
コタキナバル日本人学校
TEL 088-422297



文責：校長 渡會 寛之

マレーシア日本人学校校長会開催 Show the qualityの1日

9月3日(木) マレーシア日本人学校校長会の研修の一環として、クアラルンプール、ペナン、ジョホールそれぞれの日本人学校の校長先生をKJSにお迎えし、子どもたちの元気な姿を見ていただくことができました。

まず初めに、子どもたちの登校の様子を見ていただきましたが、バスから降りるなり明るく大きな声で挨拶する子どもたちの姿を見て、口々に素晴らしいとのお褒めの言葉をいただきました。挨拶に関しては普段から指導に力を入れているところでもありますので、その成果を認めていただけたことは、職員にとっても非常にうれしいことでした。

次に、集会室でお迎えする会を開きましたが、梅初さんの歓迎の言葉をはじめ、司会の玲那さんのハキハキと話す姿、大きく口を開けて歌う校歌と、2学期のテーマであるShow the quality!の精神がいかに発揮されていたように思います。

授業の方では、保護者参観と同時に参観していただきましたので、保護者の皆様も様子をご存じかと思いますが、アットホームな雰囲気の中、子どもたちが活発に意見を出し合って授業を進めていく姿をご覧いただけました。小学校1、2年生の小さな子たちもはきはきと朗読したり自分の考えを述べたりする姿に、とても感心されていたようです。

また、保護者の皆様が自分の子どものいる教室だけでなく、各教室を自由に行き来して、子どもたちに声をかけて褒めてくださっている姿に、コミュニティ全体で子どもたちを育てている姿が伝わると、評価していただきました。我々職員からも改めて感謝申し上げます。

さて、2学期早々に行われた今回の訪問でしたが、子どもたちは見事にShow the quality!を実行してくれました。今学期はこの後、修学旅行や学習発表会が控えています。修学旅行では、ペナン日本人学校の生徒さんたちと、短い時間ではありますが交流する時間もあります。そのような機会を活用しながら、これからも、Team KJSは、品質の向上を心掛け、そしてそれを発信していきたいと思っています。

マドラサルヒクマを訪問して

今回の校長会の研修の一環として、マドラサルヒクマという、何らかの事情で公立の学校に通うことができない子どもたちのための、教育施設を見学にいきました。不十分な施設設備の中、ボランティアの先生たちによる、限られた教科の授業を、子どもたちは受けていました。

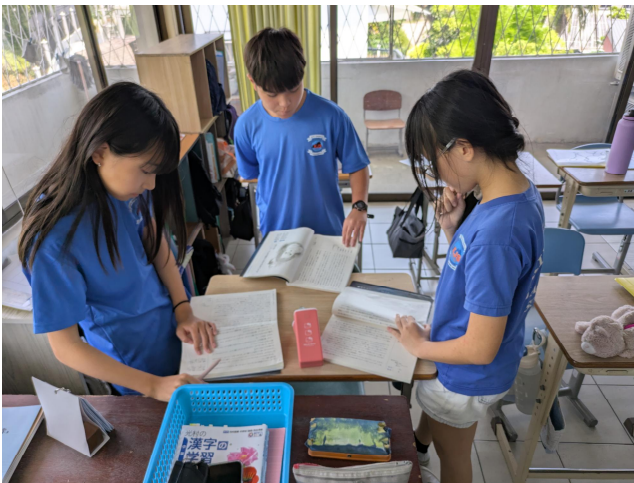
しかし、そのような逆境の中でも子どもたちの笑顔は失われていません。明るく我々に挨拶してくれる子どもたちの目には、確かな希望が宿っていたように思います。

我々は、学校で学べることを当たり前のようには考えがちですが、日本でもかつてそうだったように、世界には十分な教育を受けられない子どもたちが沢山います。そのことを私たちは忘れてはいけないと改めて思われました。



各校校長先生をお迎えしての全校朝会





今日もみんなと
勉強できて
ツイてる！

